

**法人の理念**

聖書の教えに基づき、神さまから愛されている者として喜びと感謝の気持ちを持ち、自律的に生き抜く人間の育成に努める

1. 神と人を愛し隣人と共に平和を築く
2. 体を鍛え、与えられたいのちを大切に
3. 知恵と創造力を育み、一人一人に与えられた賜物を生かす

**こひつじポスト**

『こひつじポスト』は保育園に対してのご意見・ご要望の受付ポストです。いつでもご利用ください。

ご意見・ご要望の受付担当者 石田 知子 (主任保育士)  
ご意見・ご要望の責任者 中辻 邦子 (施設長)

**第三者委員**

新田 将浩 古山 美穂 木下 昌美

**改修しました!**

- ①ひよこ組の調乳システムを新しくしました。
- ②りす組保育室引き戸部分に柱を増設しました。
- ③本館2階ベランダの防水工事をしました。
- ④にじ、うさぎ組のトイレを乾式に変えました。  
扉をはずし、パステルカラー3色の間仕切りを新設しました。  
明るくなり、こどもたちもこのトイレが大好きになりました。

※工事期間中はご不自由をおかけしました。ご協力をありがとうございました。

**社会福祉法人泉カナン会**

**寄付者ご芳名**

感謝をもって領収させていただきました  
2017年 1月 4日 ~ 2017年 9月30日  
寄付金合計 一般寄付 460,000円

《一般寄付》

中辻邦子 (1月) 吉田俊也 (1月)  
聖愛保育園保護者会 (3月)  
平井慶子 (3月) 浅川 徹 (3月)  
澤田麻里 (3月)

上野孝一 (7月) 安達英行 (8月)

★ご支援いただく方法について

①寄付金の受け入れ口座番号

(1)三菱東京UFJ銀行 河内長野支店  
口座番号:普通預金 0030746  
名義人 :社会福祉法人泉カナン会  
理事長 安達英行

(2)紀陽銀行:河内長野支店  
口座番号:普通預金 340762  
名義人 :社会福祉法人泉カナン会 聖愛保育園  
※振込手数料は、まことに恐れ入りますが、  
お振込み人様にてご負担願います。

②物品などのご支援をいただく場合は、保育園まで事前にお知らせください。

＜年主題聖句＞

あなたがたは神に愛されている子供です

エフェソの信徒への手紙 5章 1節



**園だより**  
**こひつじ 10月**

2017年 10月 1日

＜月主題聖句＞

アブラムは、主の言葉に従って旅立った 創世記 12:4

**10月主題**

- ひよこ組 (0歳児) 《うごく》 りす・うさぎ組 (1・2歳児) 《うごく》
- \*保育者と一緒にさんびかを歌う
  - \*見えない神さまの存在を感じ、共に礼拝する
  - \*戸外で気持ちよく遊ぶ
  - \*リズムに合わせて体を動かすことを喜び
  - \*身近にいる保育者や子どもの真似をしたり
  - \*秋の自然の中ででのびのびと外あそびを楽しむ
  - 試してみたりする

ひつじ・きりん・らいおん組 (3・4・5歳児) 《動く》

- \*神さまのくださっている力と知恵を合わせて、共に過ごす
- \*生活や遊びの中で、自分の気持ちや考えを表現し、友だちや保育者と伝え合う喜びを味わう
- \*いろいろな遊びのなかで、体を十分に動かして楽しむ
- \*気候の変化を体で感じながら、衣服の着脱や休息の調整をしようとする



**10月生まれのおともだち**

えまくん (2才)  
ゆうとくん (3才) そうまくん (3才)  
えいすけくん (3才)

けいたくん (4才) はつきちゃん (4才)  
れいなちゃん (4才)

なおとくん (5才)  
だいきくん (5才)  
さほちゃん (5才)



《10月の予定》

1	日		17	火	こひつじひろば
2	月		18	水	
3	火	こひつじひろば	19	木	
4	水		20	金	誕生日会 / 身体測定
5	木		21	土	
6	金	避難訓練	22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	おいもほり遠足 (3~5歳児)
9	月	体育の日	25	水	
10	火		26	木	体操 (らいおん)
11	水		27	金	お店屋さんごっこ / 10月度職員会議
12	木	体操 (らいおん)	28	土	
13	金		29	日	
14	土		30	月	
15	日		31	火	
16	月				

**いもほり遠足**

うんとこしょ!  
どっこいしょ!



10月24日 (火) です。ひつじ・きりん・らいおん組の参加です。家庭からのお弁当となっていますのでご予定ください。詳細は後日お知らせします。

**今月の日本の郷土料理**

**北海道 三平汁 & 豚丼**

三平汁は塩鮭の身や頭、アラと大根や人参、じゃがいもなどの野菜がたっぷり入った汁物で、しっかりと昆布でひいた出し汁に鮭の旨みと野菜の甘みが溶けだして、じんわり、ほっこりと温まる汁物になっています。

今では鮭を使う家庭が多いですが、昔はニシンの糠漬けがよく使われていました。秋から冬にかけて食べられることが多い、北海道の海の幸と大地の恵みがたっぷり詰まった汁物といえます。

北海道開拓当時、厳しい環境にも耐える家畜として牛よりも豚がひろく飼育されていた為、その名残から今でも北海道の人は豚肉をよく食べています。

豚丼の生まれは約70年ほど前に帯広のある食堂が当時高級だった鰻丼の味付けに似せて庶民的な食材であった豚肉を料理したのが始まりです。16日 (月) のメニューになっています。

**10月のうた**

讚美歌  
♪こすすめもくじらも  
♪かみさまにかんしゃ  
♪かみさまのあいは

月の歌  
♪いもほりのうた  
♪大きなくりの木のしたで  
♪どんぐりころころ  
♪山の音楽家  
♪すずのうた  
♪クラリネットをこわしちゃった  
♪うたえバンバン

10月、季節は秋となりました。

春から夏の保育、そしてキッズカーニバル (運動会) を終え、こどもたちは心も身体も大きく成長し、充実したときを迎えました。これからクリスマスまでの間のこの時期は色とり豊かな自然の中に身を置いて、ゆったりと遊びを深め、年齢ごとにいろいろな学びを重ねていきます。またお友だちや保育者との関わりもより深いものとなり、お互いに信頼し合ってさまざまな活動に取り組んでいくことでしょう。

今月のさんびか "かみさまのあいは" の最初に ♪神さまの愛はしみとおる、わたしたちの心に 日の光のように♪ とあります。この曲はカトリック神父の 佐久間彪 氏が縁側に座り猫を膝にのせ柿の皮をむきながら、秋の陽を受けながらできた曲だそうです。最初のフレーズから続いて、山も丘も、海も小川も、森も林も、鳥もけものも、こどももおとなも、男も女も、そして最後には ♪さあみんないっしょにさんびの歌を歌おう、いつまでもいっしょにさんびの歌を歌おう♪ と高らかに歌います。

今月もこどもたちと共に高らかに讚美し、神さまの愛の中に安心して身をゆだね、歩んでいきたいと思えます。

聖愛保育園園長 中辻邦子

**聖愛ファミリー**

~神さまの愛につつまれ育つ、たくましく思いやりのある子~

社会福祉法人泉カナン会 聖愛保育園

〒586-0023 河内長野市野野町11-46

TEL0721-52-2973 fax0721-52-2987

ホームページ <http://www.seiai.info>